

特集

片頭痛・群発頭痛治療の新たな夜明け

企画 本誌編集委員会

片頭痛・群発頭痛に対して、ゲバントや抗 CGRP 抗体などの CGRP 関連薬剤、ニューロモデュレーション治療などが臨床応用され、まさに新たな夜明けを迎えている。しかし急性期治療と予防療法の使い分けなど、専門医に対してもこれらの治療についての情報が十分に届いていない状況である。これらの治療法を理解するための基本的知識、臨床試験のエビデンス、ならびに使用方法や本邦における見通しについて学ぶ機会としたい。脳神経内科医をはじめとして総合診療医、小児科医、脳神経外科医、ペインクリニシャンなど頭痛診療に関わる多くの医師にも読んでいただきたい。